

市政報告

仙台市議会議員 (太白区)

健康推進委員会 委員 宮城県教育委員会 特別委員会 委員

わたなべひろし 拓

■事務所: 〒982-0034 宮城県仙台市太白区西多賀1-23-29 庄子ビルB号室
 ■TEL: 022-738-9784 FAX: 022-738-9788 ■E-mail: watanabe.hiroshi.koenkai@gmail.com
 ■URL: http://nabetaku.org/ ■f: 渡辺ひろし (わたなべ拓)



プロフィール

- 昭和51年6月生まれ(仙台育ち)
- 仙台一高卒業(7回生、応援団幹部)
- 早稲田大学法学部卒業(早大経弁会幹事)
- 防衛大学校大学院修了(安全保障学修士)
- 外資系コンサルティング会社、外資系保険会社(防衛省防衛大学校特別研究員を経て現職)
- 宮城県防災指導員(総合危機管理士、防災士)
- 仙台市消防団員(太白消防団・山田分団所属)
- 東北北人倶楽部(講師) (宮城県教育委員会後援)

市政や、わたなべについてのご意見など、なんでもお寄せください!

◆ご挨拶◆

平成27年8月に6124票のご信任を得て仙台市議会議員の議席をお預かりしてから、二度目の予算議会を経験しました。この間、全7回の議会において毎回登壇質問した唯一の議員となりました。議員の主戦場は議会です。引き続き、初心を忘れずに、行政のチェックに汗をかいて参ります。また、平成29年度以降に交付された政務活動費の収支報告書等について、平成30年度からインターネット上でも公開することに決しました。透明性の確保には大賛成ですが、これはあくまで「従」の問題です。「主」はあくまで、東北地方唯一の政令指定都市仙台市をいかに発展させていくのかにあると考えます。本年は、仙台藩祖伊達政宗公生誕450年の大きな節目を迎えます。歴史とは、先人の思いの束だと考えます。仙台を立ち上げ、育て、今に伝えてくださった全ての先人に感謝しつつ、我々の世代で仙台をさらに素晴らしいものにして、後生に伝えられるよう、仙台市議会議員として先人顕彰・歴史回復に邁進いたします。

◆ TOPICS ◆

○伊達政宗公生誕450年関連イベントが続々開催!



仙台市のおもてなしの顔 伊達武将隊の皆さんと仙台市役所テラスで

- ・5月20日、伊達政宗公生誕450年記念トークセッション、メディアテーク、仙台市・まつり協賛会
- ・5月20、21日、第33回仙台青葉まつり、まつり協賛会
- ・5月24日、伊達政宗公382年忌、瑞鳳殿、仙台藩志会
- ・9月9日、450年記念式典、仙台国際ホテル、仙台藩志会
- ・9月30日(予定)、「政宗ワールド」フェスタ、同pj
- ・10月7日~11月27日、特別展「伊達政宗一生涯450記念」、仙台市博物館

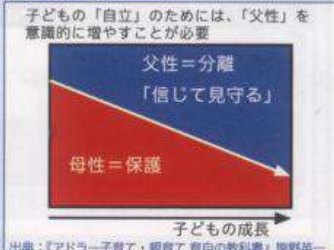


○いじめ問題とアドラー心理学

2年7ヶ月で3人もの仙台市中学生が自ら命を絶った。明らかに異常事態である。生徒からのSOSは学校に黙殺され、「死んでも誰も悲しまない」との深い絶望の末に命を絶った。生徒の絶望を思い、涙を禁じ得ない。仙台市議会議員として、議会においていじめ防止に関する質問をしてきたが、自死を防ぐことが出来なかった。我が身の不徳を恥じ、痛切に責任を感じる。

「命の大切さ」を説くだけでは現状は変わらない。いじめ対策を抜本的に改革すべきである。まず、第一に「イジメ駆け込み寺」的なシェルターを設ける。無条件で「収容する」「話を聞いてあげる」逃げ場が必要である。まずは死ぬくらいなら緊急避難的に逃げればよい。逃げ場がないと思い、精神的に追いつめられるから死を選んでしまうのである。

第二に、親を含めイジメる子供の「育て直し」が必要である。イジメは、イジメた側を断罪するだけでは解決しない。近年話題のアドラー心理学「幸せの3条件」とは、①ありのままの自分を認めることができる人が(自己受容)、②周囲の他者を信頼しながら(他者信頼)、③自己を犠牲にすることなく、他者に貢献する(他者貢献)ことだが、アドラー心理学を活用した子育てのプロフェッショナル熊野英一氏は、これら3条件を満たすうえでの課題や困難を克服できるよう「勇気づける」家庭教育ができていれば、イジメる子供にはならないと説く。(1)不完全な自分を認めることができない(2)他者を信頼できない(3)他者に貢献する喜びを知らない。イジメる子供たちには、この三点のいずれかが当てはまる。ひいては、その親にも当てはまるだろう。イジメる子たちの「勇気がくじかれ」ていることを理解し、彼らを勇気づけることでしか、イジメを減らすことはできない。親と教育者に、いち早く勇気づけコミュニケーションを学ぶ機会を作る必要がある。



○平成28年度第4定例会、平成29年度第1回定例会(予算議会)

- 【平成28年度第4定例会(12月5日~同20日)】
- ・病児・病後児保育施設の改修費補助、県費負担教員につき県から本市への権限移譲と給与措置、東部復興道路整備費等にかかる補正予算措置について議決。
- 【平成29年度第1回定例会・予算等審査特別委員会(2月9日~3月10日)】
- ・老朽化がすすむ市庁舎建て替え、公共施設長寿命化、バス路線見直しなど公共交通政策、待機児童、子供の貧困対策、歴史を活用した観光振興、仙台港石炭火力発電所対策、防災・減災のまち推進条例等を議決。
 - ・子供医療費助成制度の助成対象を小学3年生から、中学3年生に引き上げ、子育て世帯の経済的負担を軽減する。所要経費は年間10.7億円。

活動報告



仙台市主催の起業家応援イベントで、前職からの友人中山亮太郎氏がパネル司会
 中山氏はサイバーエージェント・クラウドファンディング社長として、傑作邦画『この世界の片隅に』を世に出した



仙台市消防出初め式に、太白消防団山田分団所属の消防団員として参加しました。
 市民の安心と安全のため責務を果たします!



年間500頭の保護された犬猫が一般家庭に譲渡されています。
 腰補助用マッスルスーツは、福祉人材不足を補う重要な味方。産学連携イベントにて

○ミサイル攻撃と国民保護

北朝鮮の弾道ミサイルによる恫喝が日常化している。我が国と同盟国の平和と安定へ向けた永年の努力を破壊する暴挙である。同時に、現実には目の前にある危機から目をそらし、ただ「平和」を唱えるだけの無責任な在り方が、このような事態を招いたといえる。我が国は、複数の軍事独裁・核保有国に囲まれており、自らの身は自ら護らねばならないことを自覚すべき時代がきた。「武力攻撃事態」には、自衛隊は防衛に専念するため救援を期待することは出来ない。そこで、国、地方自治体が国民保護を担当する。政令指定都市である仙台市は、弾道ミサイル落下に備えた「避難施設」を自ら指定できるものの、選定は進んでいない。安全保障・危機管理を専門とする市議会議員として、地下街、地下鉄などの避難施設の選定、緊急速報システム、住民避難、負傷者救護体制の構築など、市民の安心・安全の確保に早急に取組みます。



消防庁危機管理ルームにて

○バス事業経営改善待ったなし

地下鉄東西線開業によるバス路線再編の評判が悪い。たしかに、従来のバス路線の利便性は高く、ほとんどの路線で減便・地下鉄乗り換えをとまなう再編で「不便になった」という感想は当然である。高齢者の買い物・通院のための地域代替交通の整備は必要不可欠である。一方、バス事業のこまやかな利便性は膨大な赤字によって支えられてきたことも直視すべきだ。再編された1099のバス路線の平均乗車密度は、1台の座席数28.5中、12.8人未満の割合が84%。つまり、座席の半分も埋まらないバス路線がほとんど。平成28年度はバス事業に仙台市から30億円もの補助金が拠出され、どうかしのいだ。営業収益の44.3%が補助金では、民間ならとうに潰れている。悩ましい問題ではあるが、「あれもこれも」はもはや通用せず、「あれこれか」の厳しい選択が迫られる財政状況だという自覚が必要である。あわせて、バス事業本体の身を切る改革も不可欠である。正規・非正規職員の給与格差(=公務員と民間同業の給与格差)の是正など、民間の納得が得られるよう改革を促す。

2 正職バス乗務員と嘱託バス乗務員の平均給与・平均年齢(平成27年度実績)

	平均給与額	平均年齢
正職バス乗務員	6,899,008円	53.7歳
嘱託バス乗務員	3,653,477円	51.4歳

※正職バス乗務員には、フルタイム再任用職員を含む。
※嘱託バス乗務員、路線バス・るーぶる運転手に限る。

○単身高齢者激増と医療・介護

平成27(2015)年現在で我が国の単身者は1842万人で、全国民の7人に1人(15%)が一人暮らし。特に、中年層、高齢者の一人暮らしが顕著に増えている。50代男性の18%(1985年には5%)、80歳以上の女性の26%(1985年には9%)が単身世帯であるが、身寄りのない高齢単身世帯の「孤独死」が問題化している。単身高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続するためにも、地域包括ケアシステムの拡充が急務だが、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の活用がもたれる。当サービスは、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行うものである。介護士や看護師が、日中・夜間問わず、必要に応じ複数回、定期的に訪問し、食事の介助や排せつの介助、入浴のお世話などをしてくれる「訪問介護」。そして、体温や脈拍の測定や、健康チェック、経管栄養やバルーンカテーテルの交換などの医療ケアである「訪問看護」、以上のサービスを自宅で受けることができる。トイレが間に合わなかった時や、深夜に急な体調不調があったときなどに連絡をすれば「随時訪問」してもらえる。これにより、在宅で生活しながら施設に近いサービスを受けられる。利用料は定額で、1か月の利用回数に原則制限はなく、訪問介護や訪問看護のように、月何回と利用を明記されることがない。太白区では3つの事業者が「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」に対応している。包括的な在宅介護支援の拡充を推進します。



○子供の貧困対策

相対的貧困状態の子供が6人に1人いるとされる。平成27年度の高校卒業後の進学率は、市内全卒業者の進学率が81.7%であるのに対して、生活保護世帯の子供は41.8%、児童養護施設の子供が7.1%であり、貧困と進学率の強い相関関係がわかる。本年度から、国では大学教育費に関して、児童養護施設退所者等を対象に給付型奨学金制度が先行導入された。しかし、給付月額が国公立で3万円、私立で4万円にとどまる。所要予算額は15億円(本格実施時220億円)。一方、我が国は、外国人留学生に対しては毎年300億円を拠出しており、留学生は毎月20万円(公租公課免除を含む)ほどを支給されている。ちなみに、受給者の過半数(58%、平成27年度)は反日国である中・韓両国の学生で占められている。主客が転倒してはいないだろうか。近代日本の成功は、貧富にかかわらず教育の機会を保障することにより社会階層の移動が可能であったことによる。勉学に励みさえすれば、貧困層からでも官吏、学者、高級軍人になれる人材の循環構造「エリートの周流」が社会の活性を維持してきた。教育費無償化により、貧困による世代間の負の連鎖を断つべきである。



活動報告



仙台藩志会 新年拝礼式にて居合いを奉納
仙台創業の精神に立ち寄り、新仙台創造へ!



「歴女アイドル」の小日向えりさんと
歴史回復の新たなアプローチが楽しみ



地元食材の学校給食をいたたく
地産地消を推進します!



三神峯公園の花見客を迎える準備作業に従事
我々は常に誰かの地球な作業に支えられている



地域の神事を護り伝えます! 零下3度の決意

【平成28年度第4定例会(12月5日~同20日)】

<http://www.sendai-city.stream.jfift.co.jp>
(仙台市議会HPでは、動画で質疑全編をご覧ください。)



鋼鉄製の車止め設置が実現!

◆「市立病院に暴走車対策を」👍

拓 福岡市で、暴走車の病院突入事故が発生したが、本市立病院でも同様の事故が生じないが懸念する。病院正面玄関に続く1階ホールの内外を隔てるのはガラスの壁一枚。さらに高さ40cmほどの石製の車止めがほんの数個あるのみ。極めて脆弱な構造。既存の車止めの間にさらに十分な高さ強度の車止めを増設するなど、暴走車両の病院突入防止策を講じるべき。

答 車止めの強度、設置の間隔を見直す 質問を契機に、3月末に5基の車止めを設置!👍

◆創業する外国人の在留資格の取得要件を緩和する「スタートアップビザ事業」を悪用する「外国人によるただ乗り防止策」を

拓 通常は500万円ほどのC型肝炎治療薬剤「ハーボニー」の投薬を、国民健康保険の自己負担限度額3万円で不当に低廉に受ける、チャイニーズやコリアンによる我が国医療タダ乗りツアーが問題化している。スタートアップビザが不正の温床になりかねない。「悪意のフリーライド」抑止の観点もふまえた総合的な活動チェックを求める。

答 不審な場合は入国管理局に直ちに通報する。また、制度悪用防止の観点からチェックする。質問を契機に、悪意のフリーライド(ただ乗り)防止策が整備される👍



◆「青葉山観光案内施設」

拓 片倉小十郎邸跡である青葉山公園センター整備について、設計は「追廻地区の歴史的な意味を踏まえ、インバウンドの観点を重視した外観に」との意見に留意すべき。また、地元産木材を活用すべき。

答 歴史、文化が調和した外観とする。また、木質化を具体的に検討する。

◆「ジュニア・リーダー」

拓 全市で434名のジュニア・リーダーの活動について、1000円以上にもなる交通費が自弁のことがある。ボランティアの中・高生に経済的な負担までさせるのは不適切。公費負担すべき。

答 図書券などの費用弁償とともに、市職員による送迎などを徹底する。



西多賀ふれあい祭りにてジュニア・リーダーたち



◆「鳥インフルエンザ」

拓 12月4日にA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が判明も、「新着情報」へのリンクは12月12日付けで新聞報道より1週間も遅れての周知であった。危機に際しては、速報性をこそ最重要視すべき。

答 内容確認に時間を要した。今後は、迅速に情報を伝達する。

◆「緊急情報はトップページに」

拓 所管の関係で、健康福祉局のHPにリンクしていたがわかりにくい。危機に際しては、誰もが目にするであろう仙台市HPトップページ「新着情報」と「防災・緊急情報」に直ちに注意喚起情報を掲載すべき。

答 個別部局HPへの掲載から、仙台市HPのトップページ「新着情報」に掲載することとする。質問を契機に改善される👍

【平成29年度第1回定例会・予算等審査特別委員会(2月9日~3月10日)】

◆「グローバル人材育成のための海外留学」

拓 趣旨には賛同するも、「いかなる人材を送り出すのか」という点があいまい。仙台藩から幕末に米国留学した富田鐵之助(後の第2代日銀総裁)、高橋是清(後の第7代日銀総裁、第20代内閣総理大臣)を想起し、もっと高い目線や志を求めてもよい。仙台市として「何のための海外留学を求めるのか」を明確にすべき。

答 留学目的や将来の進路を見極め、志ある学生を支援する。



富田鐵之助

高橋是清



◆「北朝鮮による拉致被害問題」

拓 北朝鮮による拉致被害問題は、同胞の家族、人生を奪った国際的な非人道的国家犯罪。拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い—奪還—」を市内の帽子率高等学校の生徒さんたちと拝見するも、生徒さん達の感想文には、義務教育において拉致問題を学んだ様子が見られない。拉致問題啓発の内容を見直すべき。教員の研修、啓発アニメ「めぐみ」を活用すべき。

答 教員研修を強化し、啓発アニメを活用する。

◆「目と耳に障害を有する「盲ろう者」支援

拓 「盲ろう者」の通訳・介助員派遣事業について、本市では、年間利用可能時間は年間240時間。つまり、一回につき5時間の外出が月に4回できる程度にすぎない。しかも、昨年度予算では100万円が未消化のまま。他政令市の利用可能時間数は。

答 9市が「制限なし」、大阪市は1080時間、3市「予算の範囲内で超過可能」 質問を契機に、仙台市も予算の範囲内で制限時間の超過を認める運用改善実現👍



◆「藩祖伊達政宗公生誕450年」

拓 「歴史回復①」「タイムスリップタクシー」のように、「るーぶる」車内から3Dゴーグルを通じて古の仙台の街並みを楽しんだり、仙台城天守台から江戸時代の城下の様子を眺めるなど、ヴァーチャル・リアリティ(VR・仮想現実)技術、オーグメント・リアリティ(AR・拡張現実)技術を駆使して仮想空間にリアルな制約なく多くの歴史文化遺産を再現し「後世への遺産」とすべき。



VRで車内から江戸時代を体験できる技術

答 本市には城下町の遺構が少ない。最新の映像技術で城下町を仮想的に体感してもらうことは新たな観光資源となりうる。具体的に検討を進める。質問を契機に具体的な検討へ!

拓 「歴史回復②」100年前、大正6(1917)年10月10日、「仙台藩戊辰殉難者五十年弔祭」が催行。言語学者として名高い元仙台藩士大槻文彦博士は、「戊辰の挙兵は尊王の精神より起こる」と題する講演をし、「賊軍」のレッテル張りは一面的であり、歴史的「冤罪」である旨を熱烈に説いた。仙台藩の名誉回復のための強い思いが今に伝わる。来年の戊辰戦争150周年に際しては、「白河以北一山百文」と蔑まれてきた先人の御無念に向き合い、歴史的「冤罪」をお晴らしする点にも留意し、郷土先人による「もう一つの維新」を再評価する観点も打ち出すべき。

答 勝者の視点だけでなく、東北、仙台の視点の再評価に努める。



石垣島地方気象台前にて
岩崎は石垣市名誉市民

拓 「歴史回復③」仙台市がいまだに偉人顕彰の施設、独自編集の郷土の偉人伝をもたないことは奇異ですらある。仙台ゆかりの偉人である、小笠原諸島の硫黄島を一般私人として日本国領土に編入した「東洋のコロンブス」横尾東作や、「八重山諸島の恩人」岩崎卓爾、インドネシア・バリ島「独立の父」三浦襄は知る人ぞ知る先人となってしまった。「後世への遺産」に相応しい、先人教育を担保するための施設設置と、仙台独自の郷土偉人伝の編纂に向けた研究を開始すべき。

答 先人の生き方を知ることは幅広い視野と向上心を喚起する。偉人伝編纂のための資料収集と研究に着手する。

記者手帳

政宗生誕450年に冷淡?
○17日の仙台市議会自衛隊
一審員で、市が2017年度に策
定する仙台市議会議員の生誕450
○年の取組案が取り上げられた。
市は市博物館で特別展を開く予定だ
が、渡辺拓氏(議員)は生誕450
り根を検討したい」と述べた。

平成29年2月18日河北新報朝刊

◆「外国人の生活保護受給」

拓 生活保護受給の日本人世帯割合は2.6%。本市在住の在日韓国・朝鮮人の受給世帯割合は?

答 韓国・朝鮮6.3%、中国1.7%、フィリピン3%など。在日韓国・朝鮮人の生活保護受給率は、日本人の2.5倍(!)

拓 コリアンの生活保護を、南北コリアンの政府機関、朝鮮総連あるいは、韓国領事館などに要求していると聞か、返答は。

答 「大韓民国には、海外に居住する国民に対する生活補助制度を規定する法令や制度がありません。従って、当該要保護者に対しての保護又は援助は実施しておりません」との回答。

拓 自国民保護を他国にのうのうと押しつけて恥じないものであり、無責任で非常識な回答。ちなみに、韓国では、「韓国国民と結婚し、かつ韓国国籍の未成年を養育している」場合のみ外国人に基礎生活保障を認めている。

答 ...



他県では文化財登録もされている



仙台城本丸「懸け造」の再建を目指す

◆「歴史的建造物の保存を」

拓 東北大学農学部「雨宮キャンパス」跡地の「守衛所」は、旧制第二高等学校(現東北大学)の遺構で貴重。「学都仙台」の顔として、解体を中止し、東北大学片平キャンパスなどへ移転すべき。

答 本市として、イーオン、東北大学との調停役を積極的に担う。

○広瀬通イチョウ並木の移植実現!



平成28年6月、9月と広瀬通イチョウ並木伐採反対を訴えてきました。平成29年3月末に、宮城野橋開通にともない樹齢60年になる10本のイチョウは伐採されました。私の力不足でした。しかし、中央分離帯に1本残置し、さらにアエル北側・宮城野橋脇の歩道部分に1本移植することができました。皆様のご声援の賜物です。引き続き、緑を大切に市民の皆様と共に、「杜の都仙台」のブランドを護って参ります!

伐採された木の分まで長生きしてね!

○『政宗公遺訓』と美食

原文：此の世に客に來たと思へば何の苦もなし。朝夕の食事うまからずともほめて食ふべし。元來客の身なれば好嫌は申されまじ。

現代訳：自分は、この世に客に來たと思えば別にづらいとも思わない。朝晩の食事がまずくても褒めて食え。世話になっている客の身分なのだから好き嫌いを言うな。

拓 評：平易で普遍的な訓えだが、「この世に客に來たと思えば別にづらいとも思わない」との言葉からは「苦勞人」でタフな戦国武將たる政宗公のダンディズムが窺える。ちなみに、こんなことを言っておきながら、政宗公は、超グルメでもあった。寛永七年(1630年)、三代將軍徳川家光公を江戸桜田上屋敷に招いた際には、献立のすべてを政宗公が考案し、自ら味見し膳を運ぶという接待ぶりに家光公は感激したと伝えられる。

活動報告



全国優勝した常盤木学園サッカー部の精鋭に講話させていただきました!



仙台リレーマラソンにて真田軍団御一行と!



文部科学省官僚に、「道徳」必修化、いじめ対策について申し入れ